

## 分科会 4 概要報告書

分科会名	分科会 4 イクジイプロジェクトから学ぶ～パパママだけでなく祖父の力を子育てに～		
実施日	平成24年2月18日(土)	実施時間	9:30-12:00
会場	淡海8	参加人数	72人
登壇者	講師： 中村彰（とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ館長） 特別ゲスト： 板東久美子（文部科学省高等教育局長） パネリスト：長尾壽（大津市風の子保育園長）、長野敬子（岐阜県環境生活部次長）、井上明子（奈良県健やか奈良支援財団奈良県子育て家庭サポートセンター所長） コーディネーター：村上誠（ファザーリング・ジャパンイクジイプロジェクトリーダー）		

### 概要報告書

#### 【イクジイプロジェクト概要説明】

イクジイプロジェクトの柱は

- (1) 孫育て（自身の孫育て）  
     パパママサポート（補完）／家族の絆／世代間ギャップ解消／祖父母だからこそできること
  - (2) 社会貢献（地域の孫育て）  
     中高年のエンパワーメント／セカンドキャリア／世代間交流／地域力の向上
- 啓発 交流 モデルケースの可視化

2012年のトレンド 住宅選びは「職近・親近」で都心コンパクト、共育二世帯が注目  
 ベースには 1 共働き夫婦の増加 / 2 収入の伸び悩みと震災の影響がある。

子どもが大人になるまでに触れ合う大人の数が増えている影響。

- ・子どもの社会性、コミュニケーション能力の低下、年輩者への敬意、道徳心の欠乏

\*もう男が大黒柱の時代ではない。夫が仕事、妻が家庭の時代ではない。

↓

祖父母との関係で得られる物

- 1、子どもの心が育つ      2、人間関係の幅が広がる      3、色々な経験が出来る

○地域貢献でできること \*地域の防犯・防災 \*地域の保育力・教育力の向上

○高齢者による支援例 \*保育ボランティア

[データ]

- ・父親の子育ては平均1日25分／平均年収が10年前に比べて200万円減少／30歳未満の可処分所得、男女逆転
- ・在職中の勤務時間約80,000時間

- ・定年後の余暇時間 80,000 時間 (20 年×11 時間×365 日)
  - ・子どもが居る人生の満足度 91% いらぬ7%
- (クーリエジャポン 2011 年 12 月号「子育て」はコストに見合う幸福をもたらしてくれるのでしょうか?)
- ・子育て中は幸福度は低下 (多忙・ストレス)
  - ・子どもを育て上げる: 人生に満足
- \*子育てのコストは前払い リターンは後払い  
子どもが居ることが幸福だと思える社会へ

<中村彰さん講演>

- ・孫のネタでメールが届く
- ・絵本の大切さ、自分の息子が自分の子ども (孫) に読んでいる中で昔読んでもらったのを思い出す。
- ・孫、息子夫婦との関わり
- ・絵本というツールを使う。
- ・息子に対する接し方と孫に対する接し方の違い
- ・幼い頃の接点があれば、思春期に問題を抱えたときに入って行き易い。
- ・自分の子育て、孫育ての大切さ (地域活動等、生涯学習)

<パネルD>事例紹介

財団法人 健やか奈良支援財団 奈良県子育て家庭サポートセンター所長 井上さん  
多世代交流子育て支援推進事業の事例紹介  
「祖父母からのサポート推進事業」シニアのための子育て支援セミナー  
初孫準備講座 セミナーテキストの作成等

岐阜県環境生活部次長 長野さん

孫育てガイドブックの作成及びそれを使って子育て支援拠点での孫育て講座の開催の事例紹介

大津風の子保育園長 長尾さん

イクジイは金持ちである。年金を減らされても金持ち。

時は金なり。イクジイの時間をどうつかうか? その社会の仕組みを作る。

文部科学省高等教育局長 坂東さん

子育てのサポートに高齢者が関わる事が非常に良い効果がある。

文部科学省としての取り組み

- ・支えられる側から支える側の高齢者 (社会貢献で力を発揮)

アクティブシニアに活躍していただく仕組み作り

- ・関わるための必要な学び、多世代との交わり

高齢者・・・幸齢者

- ・家庭教育支援
- ・多世代が関わるシステムを構築が必要
- ・学びを通じて地域の絆を形成できるのではないか
- ・学校と地域、学びを通じた地域 (生涯学習政策)
- ・孫との関わりは個人、他の孫に関わることはしにくい、学校を通じて等々で活躍できるのでは。

ファザーリング・ジャパンイクジイプロジェクトリーダー 村上さん  
キャリアを持ってリタイアした男性の活躍の窓口が少ない。わからない。  
場の提供のアイデアを知りたい。

とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ館長 中村さん  
身近な自治会、入り口として入り込めれば。